

資料コーナー

日本のエネルギー情勢 ～よくある質問とその回答～

出典：資源エネルギー庁

(http://www.enecho.meti.go.jp/faq/index_faq02.htm) より抜粋

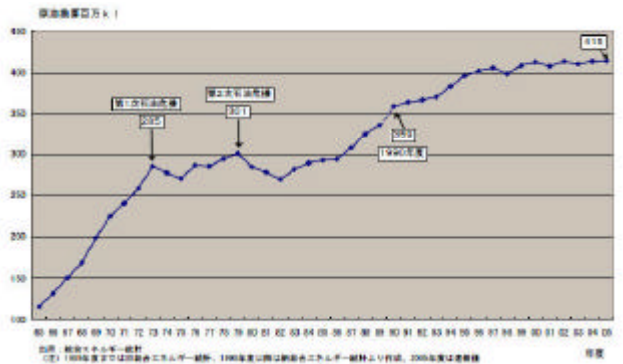
Q1. 我が国のエネルギー需要の状況について教えてください。

A1.

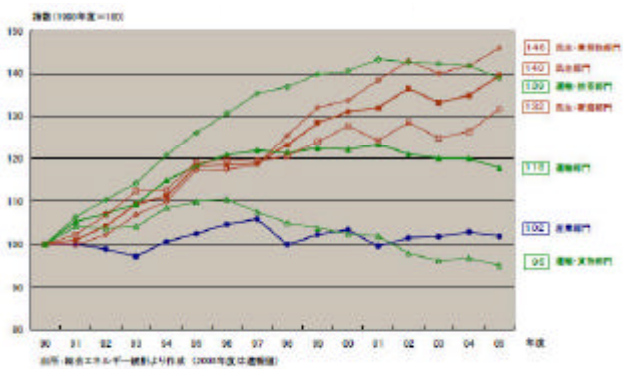
我が国のエネルギー需要は、2度の石油危機後の時期などを除き、ほぼ一貫して増加傾向で推移してきていましたが、2000年度以降は増加傾向が緩やかになっています。

部門別に見ると、1973年以降産業部門のエネルギー消費は、概ね横ばいに推移しているのに対し、運輸部門及び民生部門が大きく増加しています。なお、運輸部門でのエネルギー消費が2001年度をピークに減少に転じる一方、民生部門は引き続き増加傾向にあります。

【最終エネルギー消費の推移】



【図：部門別最終エネルギー消費の推移】



Q2. 我が国のエネルギー供給の状況について教えてください。

A2.

エネルギーの大部分を輸入に依存している我が国では、1970年代の2度の石油危機の経験を経て、省エネルギーの推進、石油代替エネルギーの導入、石油備蓄などによる石油の安定供給確保など、エネルギーの安定供給の確保のための政策を行ってきました。その結果、石油への依存度は大きく低減する(77%(73年度) 49%(2005年度))一方で、原子力(1% 11%)、天然ガス(2% 14%)のウェイトは大きく増加するなど、エネルギー供給源の多様化が進んできています。

【一次エネルギー供給の推移】

	1973年度		1990年度		2005年度 (速報値)	
	総供給	国内供給	総供給	国内供給	総供給	国内供給
一次エネルギー供給 (原油換算百万kl)	414	385	521	508	615	589
石油 (%)	77.4	75.4	57.1	56.0	48.9	46.5
石炭 (%)	15.5	16.9	16.7	16.8	20.5	21.1
天然ガス (%)	1.5	1.6	10.2	10.7	13.8	14.9
原子力 (%)	0.6	0.6	9.4	9.6	11.3	11.8
水力 (%)	4.1	4.4	4.1	4.2	2.9	3.0
地熱 (%)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
新エネルギー等 (%)	0.9	1.0	2.5	2.6	2.5	2.6

【発電電力量(一般電気事業者用)の推移】

	1973年 度	1990年 度	2004年 度
発電電力量 (10億kWh)	378	738	940
石油等火力 (%)	73%	29%	11%
石炭火力 (%)	5%	10%	18%
LNG火力 (%)	2%	22%	26%
原子力 (%)	3%	27%	34%
水力 (%)	17%	12%	10%
新エネルギー等 (%)	—	—	0.2%

高橋 康文((株)日立製作所)
(平成19年4月10日受付)